

第3章

ビジョンの全体像



1

基本理念・キャッチフレーズ

基本理念

大学等と地域がともに発展するまちづくり

本市は、大学等の行う高等教育の振興を通じて、大学等と地域が互いに交わり、支え合い、さらには、共創により新たな価値を創出することを通して、ともに発展するまちづくりの実現を目指します。

キャッチフレーズ

「まるごとキャンパス八王子」 ～学生、人材が「集う」まちに～

大学等と地域がともに発展するまちづくりを実現するためには、大学等が地域を実践の場として行う教育を支援し、地域の活性化につなげていくことが重要です。その結果、学生、市民が多様な地域の人材と資源との関わりを通じて「学び」「育つ」こととなります。さらには、地域で学ぶことを通じて、学生が八王子の魅力を発見し、将来のライフステージにおいて、本市が「働く」、「暮らす」、観光などで「訪れる」または地域と多様な形で「かかわる」場となることを目指します。

地域全体が学びの場となり、大学等と地域が連携し合う、「まるごとキャンパス八王子」～学生、人材が「集う」まちに～をキャッチフレーズとして推進します。

2

7つの基本施策

現状と課題を踏まえ、基本理念の実現を目指すために、7つの基本施策を定め、各種施策を体系的に推進します。

基本施策	2030年の目指す姿	施策の方向性
基本施策1 地域連携支援	大学等と地域が、課題と目標を共有し、ともに考え、解決に向けて主体的に取り組む関係性が築かれており、互いの発展に貢献している。また、地域での学びを通して、学生が主体性や課題解決の実践力を身に付けるとともに、地域への理解を深め、愛着が育まれている。	1 大学等と地域とのつながりづくり <<新規>>
		2 行政と大学等との共創の推進 <<新規>>
基本施策2 産学公連携支援	本市の多様な産業と大学等が組織単位で連携する関係性を築き、互いのリソース、ノウハウを持ち寄ることで新たなイノベーションを創出している。	1 大学等と市内企業との連携促進
		2 産学公連携によるイノベーション創出の支援
		3 キャンパスの再構築を契機とした産学連携と地域振興の促進に向けた支援 <<新規>>
基本施策3 学生活動支援	学生が地域を舞台とした様々な活動を通じて地域住民と交流を持つことで「社会貢献意識・自己肯定感」を向上、「自己実現」を達成させ、地域の一員としていきいきと暮らし、地域に活力が生まれている。	1 地域で活動する学生の支援
		2 学生と地域活動を結ぶ機会の創出
		3 支援者間の接続の強化 <<新規>>
基本施策4 学生の就職支援	地域での学びや地域企業との交流を通じて学生が自身のキャリア形成に有益な体験を得て、将来のライフステージで本市で働くこと、暮らすことに魅力を感じている。	1 地域資源を活かした連携の推進による大学等のキャリア教育の支援 <<新規>>
		2 市内企業の魅力の発信
		3 市内就職及び定住の促進 <<新規>>
基本施策5 生活環境支援	学生が安全安心に暮らし、社会とのつながりを持ちながら自分らしいみちを歩める場所として本市に魅力を感じている。	1 安全・安心な学生生活を守る環境づくり
		2 学生の居場所づくり <<新規>>
		3 大学等周辺部の基盤整備の促進
基本施策6 留学生支援	外国人留学生在が安全安心に暮らしており、また多世代との交流など地域活動に参画することによって、国籍、民族、文化の違いを互いに認め合い、助け合い、活かし合いながら、ともに暮らす多文化共生のまちづくりが実現している。	1 外国人留学生への生活支援
		2 外国人留学生による地域活性化
基本施策7 生涯学習推進	各ライフステージにあわせて、大学等が学びを得る場となり、生涯にわたり切れ目なく学べる環境が整備されている。	1 多様な学びの環境づくり
		2 自己実現のための学びの支援
		3 大学等施設における市民の生涯学習の推進

「地域自治」と「共創」

本市では、令和5年（2023年）3月に基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」を策定し、3つの重点テーマである「未来の主役づくり」「未来へのつながりづくり」「未来に続く都市づくり」を推進する取組を進めています。

また、前基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」の柱である「人とひととの支えあい、つながり」と市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」を継承しつつ、より発展的に捉えた「地域自治」と「共創」を「未来を拓く原動力」として掲げました。

この方針と連動したものとなるよう、本ビジョンにおいては、基本理念「大学等と地域がともに発展するまちづくり」の実現に向け、大学等がまちづくりにおける重要なパートナーであるという視点のもと、これらのキーワードを原動力として取組を推進していきます。

「地域自治」

地域が主体的に地域の魅力や課題を把握し、その向上や解決に向けて、地域の多様な活動団体や住民同士、地域と行政が協働していくための仕組みを構築する「地域づくり」を推進し、地域のことを自分たちで考え、行動することでみんなの幸せを実現するとしています。

「共創」

複雑化する社会課題に対応し続けるために、企業、大学などとの対話と共感を起点に、とも（共）に考え、創造していく仕組みを市が主体的に構築し、地域課題、社会課題のソリューションを創出する「共創」を継続できる社会を目指すとしています。

（例）大学等との共創により取組が期待されるテーマ

カーボンニュートラルの達成

八王子市地球温暖化対策地域推進計画

社会人の学び直し
（リカレント教育）の充実

八王子市生涯学習プラン

各地域の魅力を
活かしたまちづくり

八王子市地域づくり推進基本方針

DX化の推進

八王子市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画

産業の活性化

八王子市産業イノベーションプラン

部活動改革

部活動改革ガイドライン(仮)

文化財の保存と活用

八王子市文化財保存活用地域計画

3

指標

学園都市づくり施策における数値目標は、施策の実施による直接の結果をアウトプット指標、その結果、本市にもたらされる効果をアウトカム指標として、基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」及びその行動計画である「八王子市経営計画（重点事業編）」と整合を図っています。

また、「八王子未来デザイン2040」のうち、本ビジョンに関連する施策の指標についても、参考に記載します。

【アウトカム指標】市民の実感割合の推移をもとに、施策の効果検証を図ります。

重要業績評価指標（KPI）	現状値 （令和4年度（2022年度））	目標値 （令和12年度（2030年度））
大学等や学生がまちづくりにかかわっていると実感している市民の割合（%）	24.5%	50.0%

【アウトプット指標】大学等と本市との連携・協力事業数を増やしていくことで、行政が率先して学園都市づくりを推進します。

重要業績評価指標（KPI）	現状値 （令和4年度（2022年度））	目標値 （令和12年度（2030年度））
大学等と本市との連携・協力事業数（件／年間）	154件	256件

【参考指標】「八王子未来デザイン2040」のうち、本ビジョンに関連する施策に係る指標

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値 (令和12年度（2030年度）)	関連する主な基本施策
学校と地域が連携して行う取組数	38,149件 (令和3年度（2021年度）)	62,700件	基本施策1 地域連携支援 基本施策3 学生活動支援
産産・産学連携による共同研究開発数	— 件	109件（累計）	基本施策2 産学公連携支援 基本施策4 学生の就職支援
地域に居場所があると感じている子ども・若者の割合	子ども 88.5% 若者 64.7% (令和4年度（2022年度）)	子ども 90% 若者 75%	基本施策3 学生活動支援 基本施策5 生活環境支援
八王子市を「居心地の良い場所」「訪れて楽しい場所」と感じている市民の割合	82.1% (令和4年度（2022年度）)	90%	基本施策1 地域連携支援 基本施策5 生活環境支援
公共交通の利便性の満足度	64.5% (令和4年度（2022年度）)	75%	基本施策5 生活環境支援
外国人と交流したいと思う市民の割合	52.7% (令和4年度（2022年度）)	65%	基本施策6 留学生支援
生涯学習活動をしている市民の割合	55.0% (令和4年度（2022年度）)	80%	基本施策7 生涯学習推進